

個別注記表

■継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

■重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準および評価方法

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法
子会社株式および関連会社株式…移動平均法による原価法
その他有価証券
時価のあるもの…期末日の市場価格等にもとづく時価法
(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)
時価のないもの…移動平均法による原価法
- (2) デリバティブの評価基準および評価方法…時価法
- (3) たな卸資産の評価基準および評価方法
…総平均法による原価法 (収益性の低下による簿価切下げの方法)

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産 (リース資産を除く)
定額法によっております。
- (2) 無形固定資産
定額法によっております。
なお、自社利用のソフトウェアの耐用年数は、社内における利用可能期間 (5年) であります。
- (3) リース資産 (所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産)
リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金
期末債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- (2) 災害損失引当金
平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」による被害を受けた遊休不動産 (福島県いわき市) の解体費用見込額を計上しております。
- (3) 退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額にもとづき計上しております。
なお、過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により費用処理して

おり、数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により発生の翌事業年度から費用処理しております。
なお、執行役員に対する退職慰労引当金を含んでおります。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- (1) ヘッジ会計の処理
 - ①ヘッジ会計の方法
繰延ヘッジ処理を採用しております。
 - ②ヘッジ手段とヘッジ対象
市場相場変動に伴うリスクがある債権または債務をヘッジ対象として、為替予約、金利スワップ等のデリバティブ取引をヘッジ手段として用いております。
 - ③ヘッジ方針
市場相場変動に伴うリスクのヘッジを目的として、実需にもとづく債権または債務を対象にデリバティブ取引を行っており、デリバティブ取引に関する管理規程に準じて取引を行ない、ヘッジの有効性の判定を含めたりリスク管理を実施しております。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

5. 重要な会計方針の変更

資産除去債務に関する会計基準等

当事業年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日) および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日) を適用しております。
これにより、当事業年度の税引前当期純利益が7百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は7百万円であります。

■貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	20,090百万円
2. 保証債務	
従業員の金融機関からの借入に対する債務保証	151百万円
3. 関係会社に対する金銭債権および金銭債務 (区分表示したものを除く)	
短期金銭債権	12,429百万円
長期金銭債権	55百万円
短期金銭債務	16,015百万円

■損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
(1) 営業取引による取引高	
売上高	22,079百万円
仕入高等	42,160百万円
(2) 営業取引以外の取引による取引高	
営業外収益	372百万円

■株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における自己株式の数	
普通株式	226,920株
(変動事由の概要)	
単元未満株式の買取りにより、前事業年度末から8,004株増加しております。	

■税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(1) 繰延税金資産	
固定資産減価償却超過額(減損損失含む)	1,510百万円
関係会社株式・出資金評価損	1,137百万円
未払従業員賞与	331百万円
退職給付引当金	2,267百万円
税務上の繰越欠損金	5,806百万円
その他	823百万円
繰延税金資産小計	11,877百万円
評価性引当額	△11,877百万円
繰延税金資産合計	-百万円
(2) 繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	△1百万円
繰延税金負債合計	△1百万円
繰延税金負債の純額	△1百万円

■ 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社および法人主要株主等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	富士通株式会社	被所有	なし	当社製品の販売	製品の販売	2,859	売掛金	691
		直接 64.6%			借入に対する被保証	9,000	—	—
		間接 0.0%						

(注) 上記の金額のうち取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件および取引条件の決定方針等

1. 製品の販売については、市場価格、当社の原価等を勘案して一般的取引条件と同様に決定しております。

2. 借入に対する被保証については、銀行借入金に対して債務保証を受けております。なお、これに伴う保証料は支払っておりません。

2. 子会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)		
			役員の兼任等	事業上の関係						
子会社	FDK エナジー株式会社	所有 直接 88.0%	兼任 3名	賃貸料収入 経営指導 商品の購入 代理購買 資金の運用	代理購買	※1	未収入金	2,559		
					賃貸料	79				
					経営指導料	146				
					商品の購入	7,411			買掛金	2,613
					資金の運用	1,280			預り金	1,280
	FDK トワイセル株式会社	所有 直接 100.0%	兼任 3名	商品の購入 資金の運用	商品の購入	21,626	買掛金	4,978		
					資金の運用	17,430	預り金	1,630		
	FDK 鳥取株式会社	所有 直接 100.0%	兼任 3名	商品の購入 資金の運用	商品の購入	7,274	買掛金	1,158		
					資金の運用	14,050	預り金	1,150		
	株式会社 FDK エンジニアリング	所有 直接 100.0%	兼任 1名	製品製造設備の購入 資金の運用	資金の運用	595	預り金	595		
	FDK モジュールシステムテクノロジー株式会社	所有 直接 100.0%	兼任 1名	資金の貸付	資金の貸付	15,308	短期貸付金※4	1,268		
	XIAMEN FDK CORPORATION	所有 直接 100.0%	兼任 1名	製品の購入 原材料等の有償支給	原材料等の有償支給	※2	未収入金	1,654		
					製品の購入	448	買掛金	1,333		
	SUZHOU FDK CO., LTD.	所有 直接 100.0%	なし	製品の購入 原材料等の有償支給	製品の購入	1,769	買掛金	582		
SHANGHAI FDK CORPORATION	—	—	—	清算配当金の受取※3	415	—	—			

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
子会社	FDK LANKA (PVT) LTD.	所有 直接 100.0%	なし	製品の購入 原材料等の有償支給	配当金の受取	140	—	—
	FDK AMERICA, INC.	所有 直接 100.0%	なし	当社製品の販売	製品の販売	9,210	売掛金	2,305
	FDK ELECTRONICS GMBH	所有 直接 100.0%	なし	当社製品の販売	製品の販売	5,355	売掛金	1,770
	FDK HONG KONG LTD.	所有 直接 100.0%	なし	当社製品の販売	製品の販売	3,559	売掛金	569

(注) 上記の金額のうち取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件および取引条件の決定方針等

1. 賃貸料については、物件の所有・管理に係る経費等を勘案して決定しております。
2. 経営指導料については、業務の内容を勘案して決定しております。
3. 商品の購入については、同社の原価等を勘案して一般的取引条件と同様に決定しております。
4. 製品の購入については、同社の原価等を勘案して一般的取引条件と同様に決定しております。
5. 製品の販売については、当社の原価等を勘案して一般的取引条件と同様に決定しております。
6. 資金の貸付については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
7. 資金の運用については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
8. ※1：代理購買については、市場からの調達価額と同額のため、取引金額には含めておりません。
9. ※2：原材料等の有償支給については、原則として市場からの調達価額で支給しているため、取引金額には含めておりません。
10. ※3：SHANGHAI FDK CORPORATIONは、平成22年12月30日に清算を結了しております。
11. ※4：子会社への短期貸付金等に対し、合計1,277百万円の貸倒引当金を計上しております。

3. 兄弟会社等

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
			役員の兼任等	事業上の関係				
親会社 の子会社	富士通キャピタル 株式会社	なし	兼任 1名	資金の借入 ファクタリング	資金の借入	113,500	短期借入金	7,900
					支払利息	52		
					ファクタリング	5,712	買掛金	1,410
						未払金	357	

(注) 上記の金額のうちファクタリングの取引金額および期末残高には消費税等が含まれております。

取引条件および取引条件の決定方針等

1. 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。
2. ファクタリングについては、当社の仕入債務に関し、当社、当社の仕入先、富士通キャピタル株式会社の三者間で基本契約を締結し、ファクタリング方式による決済を行なっております。

■ 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	△45円66銭
1株当たり当期純損失	0円27銭

■ 重要な後発事象に関する注記

合弁会社の設立

平成23年4月27日付で当社と旭化成株式会社は、次世代の蓄電デバイスであるリチウムイオンキャパシタに関して、共同出資の新会社を設立することについて基本合意いたしました。

(注) 各注記の記載金額はすべて百万円未満を切り捨てにより表示しております。